

第 15 回 日本臨床環境医学会総会 プログラム

■ 第 1 日 7 月 7 日(金)

8:50 開会の辞 吉野 博(東北大学大学院工学研究科)

9:00-10:00 一般演題(1)

座長 吉田 貴彦(旭川医科大学健康科学講座)

1-1. 各種水におけるホルムアルデヒド濃度の測定

○藤之原 仁美¹⁾、国戸 千薫子¹⁾、後藤 浩之²⁾、吉田 辰夫²⁾、大下 歩²⁾、西中川 秀太³⁾、
圓藤 陽子⁴⁾、河合 俊夫⁵⁾、竹内 靖人⁶⁾、世古 民雄⁷⁾

¹⁾関西労災病院 検査科

²⁾関西労災病院環境医学センター

³⁾東京労災病院環境医学センター

⁴⁾東京労災病院産業中毒センター

⁵⁾中災防 大阪労働衛生センター

⁶⁾中災防 中国四国安全衛生センター

⁷⁾パーキンエルマー・ジャパン

1-2. 食品中に含まれるホルムアルデヒドによる腸内での毒性発現

○中木 良彦¹⁾、伊藤 俊弘¹⁾、杉岡 良彦¹⁾、遠藤 整¹⁾、坂部 貢²⁾、吉田 貴彦¹⁾

¹⁾旭川医科大学健康科学講座

²⁾北里大学薬学部公衆衛生学講座

1-3. 高濃度ホルムアルデヒド曝露前後における網膜及び脈絡膜循環動態の検討

○高橋 淳士、長岡 泰司、佐藤 栄一、泉 直宏、十川 健司、吉田 晃敏

旭川医科大学眼科

1-4. ホルムアルデヒド曝露実験によるマウス血中ヘモグロビン付加体の定量

○松井 康人¹⁾、傳田 拓也¹⁾、樺田 尚樹²⁾、嵐谷 奎一²⁾、内山 巖雄¹⁾

¹⁾京都大学大学院工学研究科

²⁾産業医科大学産業保健学部

1-5. 珪肺症例における制御性 T 細胞分画の機能解析

○大槻 剛巳¹⁾、三浦 由恵¹⁾、兵藤 文則²⁾、西村 泰光¹⁾、前田 恵¹⁾、林 宏明¹⁾、勝山 博信³⁾

¹⁾川崎医科大学衛生学

²⁾川崎医療短期大学第一看護科

³⁾川崎医科大学公衆衛生学

10:00-10:10 休憩

10:10-11:10 一般演題(2)

座長 木村 穰 (東海大学医学部基礎医学系)

2-1. 2005年に一定地域のネオニコチノイド系および有機リン系殺虫剤散布後自覚症状を訴え受診した患者の心電図所見とその季節変動

○平 久美子¹⁾、青山 美子²⁾

¹⁾東京女子医科大学東医療センター麻酔科

²⁾青山内科小児科医院

2-2. 有機リン DDVP によるヒト神経芽細胞腫由来 SH-SY5Y 細胞死誘導

○坂上 元栄¹⁾、仲村 友希¹⁾、西山 直子¹⁾、芳賀 洋祐¹⁾²⁾、坂部 貢¹⁾

¹⁾北里大学薬学部公衆衛生学教室

²⁾千葉大学大学院医学研究院環境生命医学

2-3. シックハウス症候群における *Neuropathy Target Esterase (NTE)* 遺伝子のハプロタイプ解析

○松坂 恭成¹⁾、大久保 朋一²⁾、津田 道雄¹⁾、菊池イアラ幸江¹⁾、青山美子³⁾、角田和彦⁴⁾、猪子 英俊¹⁾、坂部 貢⁵⁾、石川 哲⁶⁾、木村 穰¹⁾

¹⁾東海大学医学部基礎医学系

²⁾伊勢原研究推進部教育研究支援センター

³⁾青山内科小児科医院

⁴⁾かくたこども&アレルギークリニック

⁵⁾北里大学薬学部公衆衛生学

⁶⁾北里研究所病院臨床環境医学センター

2-4. fMRI を用いた微量化学物質曝露時の脳画像解析の検討

○三木 猛生¹⁾、和田 耕治²⁾、石橋 美生²⁾、小林 和¹⁾、杉浦 由美子¹⁾、井上 葉子¹⁾、角田 正史¹⁾、相澤 好治¹⁾、管 信一³⁾、宮田 幹夫³⁾、坂部 貢⁴⁾

¹⁾北里大学医学部衛生学公衆衛生学

²⁾北里大学病院放射線科

³⁾北里研究所病院臨床環境医学センター

⁴⁾北里大学薬学部公衆衛生学教室

2-5. 喘息長期管理における粉塵・花粉・気象情報の有用性に関する検討

○中村 陽一¹⁾、鈴木 慎太郎¹⁾、井出 久仁子¹⁾、中山 奈穂¹⁾、仲田 絵美子¹⁾、山村 信一²⁾、久保 信雄²⁾、井沖 浩美³⁾、片岡 浩巳⁴⁾

¹⁾横浜市みなと赤十字病院アレルギーセンター

²⁾横浜市みなと赤十字病院検査部

³⁾(独)病院機構高知病院臨床検査科

⁴⁾高知大学医学部附属病院検査部

11:10-11:20

休憩

11:20-12:20 一般演題(3)

座長 中井 里史 (横浜国立大学大学院環境情報研究院)

3-1. 低湿度環境における在室者の健康性・快適性・知的生産性評価

○堤 仁美¹⁾、田辺 新一²⁾

¹⁾早稲田大学理工学総合研究センター

²⁾早稲田大学理工学部建築学科

3-2. 秋田県の児童を対象とした生活環境と健康障害に関するアンケート調査

○長谷川 兼一、畑村 裕希、松本 真一、源城 かほり

秋田県立大学システム科学技術学部

3-3. 集合住宅における居住年数と流産との関連性について

○逢坂 文夫¹⁾、相川 浩幸¹⁾、池見 好昭²⁾

¹⁾東海大学医学部地域保健学

²⁾横浜市衛生研究所

3-4. 一般日本人の蓄積性有機塩素系化学物質曝露指標としての PCB 曝露調査

○深田 秀樹^{1,2)}、井上 万里子^{1,2,3)}、川城 由紀子^{1,2)}、松野 義晴^{1,2,4)}、森 千里^{1,2,4)}

¹⁾千葉大学大学院医学研究院 次世代環境健康学プロジェクト

²⁾千葉大学大学院医学研究院 環境生命医学 ³⁾千葉大学大学院医学研究院 生殖機能病態学

⁴⁾千葉大学環境健康都市園芸フィールド科学教育研究センター

3-5. 臨床環境医学において必要となる専門家と一般の方との架け橋

～環境健康学トランスレーターの育成プロジェクトの成果報告～

○持田 陽司¹⁾、深田 秀樹^{1,2)}、戸高 恵美子^{2,3)}、松野 義晴^{1,2,3)}、山浦 真弓⁴⁾、小川 二美代⁴⁾、
安井 悦子⁴⁾、森 千里^{1,2,3)}

¹⁾ 千葉大学大学院医学研究院 環境生命医学

²⁾ 千葉大学大学院医学研究院 次世代環境健康学プロジェクト

³⁾ 千葉大学 環境健康都市園芸フィールド科学教育研究センター ⁴⁾ 株式会社 グレイス

12:20-13:10 休憩

13:10-13:40 総会

13:40—14:40 一般演題(4)

座長 中村 陽一 (横浜市みなと赤十字病院)

4-1. 化学物質過敏症及びシックハウス症候群と視標追跡検査の検討

○吉田 辰夫¹⁾、後藤 浩之¹⁾、大下 歩¹⁾、西中川 秀太²⁾、圓藤 陽子³⁾

¹⁾関西労災病院環境医学研究センター

²⁾東京労災病院環境医学研究センター

³⁾東京労災病院産業中毒センター

4-2. シックハウス症候群(SHS)および化学物質過敏症(MCS)患者における眼球運動検査の有効性の検討

○石原 友香¹⁾、横沢 冊子¹⁾、西中川 秀太¹⁾、安藤 明利¹⁾、小川 真規²⁾、圓藤 陽子²⁾、後藤 浩之³⁾、
石川 哲⁴⁾

¹⁾東京労災病院環境医学研究センター

²⁾東京労災病院産業中毒センター

³⁾関西労災病院環境医学研究センター

⁴⁾北里研究所病院

4-3. 臨床環境医学センター受診患者における中心フリッカー検査の検討

○小沢 学¹⁾、松井 孝子¹⁾、宮田 幹夫¹⁾、土本 寛二²⁾、坂部 貢³⁾、

¹⁾北里研究所病院臨床環境医学センター

²⁾北里研究所病院内科

³⁾北里大学薬学部公衆衛生学講座

4-4. 日本のMCS患者に対するQEESI問診票の有効性に関する検討

○北條 祥子¹⁾、吉野 博²⁾、角田 和彦³⁾、熊野 宏昭⁴⁾、坂部 貢⁵⁾、宮田 幹夫⁶⁾、松井 孝子⁶⁾、
石川 哲⁶⁾

¹⁾尚絅学院大学生生活創造学科

²⁾東北大学大学院工学研究科

³⁾かくた・アレルギークリニック

⁴⁾東京大学大学院医学研究科

⁵⁾北里大学薬学部公衆衛生

⁶⁾北里研究所病院臨床環境医学センター

4-5. 間質性膀胱炎と化学物質過敏症について～QEESIを用いた関連性の検討

○吉田 浩士、上田 朋宏、中川 雅之、田上 英毅、岡村 基弘

京都市立病院泌尿器科

14:40—14:50

休憩

14:50-15:40 一般演題(5)

座長 坂部 貢(北里大学薬学部公衆衛生学講座)

5-1. 室内空気汚染物質濃度の構成メカニズムと濃度予測法に関する研究

○野崎 淳夫¹⁾、吉澤 晋²⁾

¹⁾東北文化学園大学大学院健康社会システム研究科

²⁾国立保健医療科学院

5-2. 新築移転による VOC 類曝露濃度と呼気濃度の変化に関する調査

○水越 厚史、野口 美由貴、熊谷 一清、柳沢 幸雄

東京大学大学院新領域創成科学研究科

5-3. シックハウスにおける室内空気汚染の実態と発生要因の統計的分析

○吉野 博¹⁾、吉田 真理子¹⁾、池田 耕一²⁾、野崎 淳夫³⁾、角田 和彦⁴⁾、北條 祥子⁵⁾、吉野 秀明⁶⁾、
天野 健太郎⁷⁾、祢津 紘司⁸⁾、石川 哲⁹⁾

¹⁾東北大学大学院工学研究科

²⁾国立保健医療科学院・建築衛生部

³⁾東北文化学園大学大学院

⁴⁾かくたこども&アレルギークリニック

⁵⁾尚綱学院大学生生活創造学科

⁶⁾東スリーエス株式会社

⁷⁾竹中工務店技術研究所

⁸⁾株式会社大林組

⁹⁾北里研究所病院臨床環境医学センター

5-4. 環境ユニバーサルデザインの提唱「ケミレスタウン・プロジェクト」の取り組み

ーサステイナブルな社会の実現を目指して

○森 千里^{1,2)}、戸高 恵美子^{1,2)}、深田 秀樹¹⁾、松野 義晴^{1,2)}、中岡 宏子²⁾

¹⁾千葉大学大学院 医学研究院 環境生命医学

²⁾千葉大学 環境健康都市園芸フィールド科学教育研究センター

P-7. 電磁波に対する有効な対策の提案とその有効性の立証

○土田 直樹
株式会社レジナ

P-8. 電磁場の自律神経に及ぼす影響とその対策 —携帯電話と航空機の発する電磁場について—

○水谷 弘子
生命エネルギー工業株式会社、生命エネルギー研究所

P-9. シックハウス防除のための住居の開発(安全・安心・確実な住まいを提供するために)

○吉野 秀明¹⁾²⁾、佐藤 喜政²⁾、鈴木 京子¹⁾、後藤 崇¹⁾
¹⁾東スリーエス株式会社研究開発部 ²⁾東スリーエス株式会社住宅事業部

P-10. 教材教具による教室内空気汚染と濃度予測に関する研究

野崎 淳夫²⁾、○成田 泰章¹⁾、早坂 友規²⁾、橋本 康弘¹⁾
¹⁾藍野総合研究所野崎研究室 ²⁾東北文化学園大学大学院健康社会システム研究科

P-11. 微量化学物質濃度制御型実験室とその周辺機器の開発に関する研究

野崎 淳夫¹⁾、○早坂 友規¹⁾、本間 弘明²⁾
¹⁾東北文化学園大学大学院健康社会システム研究科 ²⁾光明理化学工業株式会社

P-12. 家庭用品、事務用品、教材教具の発生化学物質測定用チェンバーの開発に関する研究

—チェンバー基本性能の確認—

野崎 淳夫¹⁾、○橋本 康弘²⁾、早坂 友規¹⁾、佐々木 俊¹⁾、山下 祐希¹⁾
¹⁾東北文化学園大学大学院健康社会システム研究科 ²⁾藍野総合研究所野崎研究室

P-13. 化学吸着剤による室内化学物質汚染の低減性に関する研究

野崎 淳夫、○一條 佑介、
東北文化学園大学大学院健康社会システム研究科

P-14. 家電製品から発生する化学物質による室内空気汚染とその実態把握に関する研究

—小型家電製品の化学物質発生量—

野崎 淳夫¹⁾、○横山 英智¹⁾、成田 泰章²⁾、神野 透人³⁾、高 玲華⁴⁾、安藤 正典⁴⁾
¹⁾東北文化学園大学大学院健康社会システム研究科 ²⁾藍野総合研究所野崎研究室
³⁾国立医薬品食品衛生研究所 ⁴⁾武蔵野大学薬学部

P-15. 循環濾過型空気清浄ユニット併用型換気システムの化学物質除去性能に関する研究

野崎 淳夫¹⁾、○佐々木 俊¹⁾、橋本 康弘²⁾、小名 秋人³⁾、長友 良久³⁾、橋口 裕文³⁾、桑沢 保夫⁴⁾、
大澤 元毅⁴⁾、坊垣 和明⁴⁾

¹⁾東北文化学園大学大学院健康社会システム研究科 ²⁾藍野総合研究所野崎研究室

³⁾大成建設株式会社 ⁴⁾独立行政法人建築研究所

16:50-17:00 休憩

17:00-18:30

シンポジウム

「結露・カビと健康影響」

開会挨拶： 柳沢 幸雄（東京大学新領域創成科学研究科）

司 会： 池田 耕一（国立保健医療科学院建築衛生部）

1. 室内環境におけるアレルギー疾患の現状

秋山 一男（国立病院機構相模原病院臨床研究センター）

2. 建築物と微生物

柳 宇（国立保健医療科学院建築衛生部）

3. 室内環境微生物としてのカビ

高鳥 浩介（国立医薬品食品衛生研究所）

4. 真菌症の治療

河野 茂（長崎大学医学部第二内科）

5. 環境から考えるカビ防止法

阿部 恵子（環境生物学研究所）

18:30

懇親会

■ 第2日 7月8日(土)

8:40-9:40 一般演題(6)

座長 池田 耕一(国立保健医療科学院・建築衛生部)

6-1. 店舗空間の化学物質濃度に関する実態調査

○坂口 淳¹⁾、赤林 伸一²⁾

¹⁾県立新潟女子短期大学

²⁾新潟大学大学院自然科学研究科

6-2. 天井裏等の内部空間からの汚染物質室内侵入の実態

○林 基哉¹⁾、大澤 元毅²⁾

¹⁾宮城学院女子大学

²⁾独立行政法人建築研究所

6-3. 仙台市の住宅における環境調整行動と室内空気質の年間計測

○菅原 正則¹⁾、林 基哉²⁾

¹⁾宮城教育大学

²⁾宮城学院女子大学

6-4. 都内保育園における真菌による空気汚染の実態調査

○藤野 美菜¹⁾、望月 悦子²⁾、岩田 利枝³⁾

¹⁾東海大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程

²⁾早稲田大学理工学術院日本学術振興会特別研究員

³⁾東海大学情報デザイン工学部建築デザイン学科

6-5. 大学施設を対象とした化学物質による室内空気汚染の対策に関する研究

—その1 耐震改修工事前における調査

○長谷川 麻子¹⁾、上田 厚²⁾、原田 幸一³⁾、魏 長年⁴⁾、野口 ゆかり⁵⁾、

¹⁾熊本大学大学院自然科学研究科

²⁾熊本大学大学院医学薬学研究部

³⁾熊本大学医学部保健学科

⁴⁾熊本大学政策創造研究センター

⁵⁾九州大学 医学部保健学科

9:40-9:50

休憩

9:50-10:50 一般演題(7)

座長 逢坂 文夫 (東海大学医学部地域保健学)

7-1. 室内空気質 (IAQ) に配慮したクリニックの設計・施工の一例

○辻 幸一郎¹⁾、辻 好美¹⁾、角田和彦²⁾、坂部貢^{3)、4)}

¹⁾AEHF-JAPAN アメリカ環境健康財団日本支部

²⁾かくたこども&アレルギークリニック

³⁾北里大学薬学部・公衆衛生学講座

⁴⁾北里研究所病院・臨床環境医学センター

7-2. 病院の室内空気環境の維持管理に関する研究—第1報 室内空気質の測定結果

○鍵 直樹¹⁾、池田 耕一¹⁾、柳 宇¹⁾、塩津 弥佳¹⁾、小畑 美知夫²⁾、斉藤 敬子²⁾、鎌倉 良太²⁾、
吉野 博³⁾

¹⁾国立保健医療科学院・建築衛生部

²⁾(財)ビル管理教育センター

³⁾東北大学大学院工学研究科

7-3. 病院の室内空気環境の維持管理に関する研究—第2報 居住者に起因する汚染物質濃度の測定結果

○柳 宇¹⁾、池田 耕一¹⁾、鍵 直樹¹⁾、塩津 弥佳¹⁾、小畑 美知夫²⁾、斉藤 敬子²⁾、鎌倉 良太²⁾、
吉野 博³⁾

¹⁾国立保健医療科学院 建築衛生部

²⁾(財)ビル管理教育センター

³⁾東北大学大学院工学研究科

7-4. 病院の室内空気環境の維持管理に関する研究—第3報 室内湿度管理の現状

○池田 耕一¹⁾、柳 宇¹⁾、鍵 直樹¹⁾、塩津 弥佳¹⁾、小畑 美知夫²⁾、斉藤 敬子²⁾、鎌倉 良太²⁾、
吉野 博³⁾

¹⁾国立保健医療科学院 建築衛生部

²⁾(財)ビル管理教育センター

³⁾東北大学大学院工学研究科

7-5. 花粉症対策のための抗原曝露システムの開発

○湯 懐鵬¹⁾、藤田 俊雄²⁾

¹⁾新菱冷熱工業株式会社

²⁾新菱冷熱工業株式会社

11:00-12:00 特別講演

「室内空気汚染による健康影響の定量的評価

DALY に基づく外部コスト、内部コストを考慮した FCA (Full Cost Assessment)」

日本建築学会会長/慶應義塾大学教授 村上 周三

12:00-13:00 休憩

13:00—14:00 一般演題(8)

座長 柳沢 幸雄 (東京大学新領域創成科学研究科)

8-1. シックハウス対策と濃度低減効果—改正建築基準法施行後の室内空気質—

○木村 洋¹⁾、黒河 輝久²⁾

¹⁾(株)長谷工コーポレーション技術研究所

²⁾長谷工クリニック所長

8-2. 化学物質の放散を抑制した家具の製作と評価

○天野 健太郎、呂 俊民、石黒 武

株式会社竹中工務店技術研究所

8-3. 日用空気汚染対策品による室内化学物質濃度の低減性に関する研究

野崎 淳夫¹⁾、○山下 祐希¹⁾、早坂 友規¹⁾、橋本 康弘²⁾

¹⁾東北文化学園大学大学院健康社会システム研究科

²⁾藍野総合研究所野崎研究室

8-4. 家庭用空気清浄機使用室における化学物質濃度予測手法の開発に関する研究

野崎 淳夫¹⁾、○吉川 彩¹⁾、一條 佑介¹⁾、吉澤 晋²⁾

¹⁾東北文化学園大学大学院健康社会システム研究科

²⁾国立保健医療科学院

8-5. 各方式によるアセトアルデヒドの除去効果

○前田 康博¹⁾、小林 徳和²⁾、木村 文夫¹⁾、湯 懐鵬¹⁾

¹⁾新菱冷熱工業株式会社

²⁾(株)新菱エコビジネス株式会社

14:00—14:10

休憩

14:10-15:25 一般演題(9)

座長 角田 和彦 (かくたこども&アレルギークリニック)

9-1. 化学物質過敏症転地療養施設の空気質と運用状況

○小林 徳和¹⁾、長 泰則¹⁾、湯 懐鵬²⁾

¹⁾株式会社新菱エコビジネス ²⁾新菱冷熱工業株式会社

9-2. 旭川、伊豆における化学物質過敏症転地療養支援の取組みと課題

○飯濱 宥明¹⁾、小笠原 次雄²⁾、尾竹 一男¹⁾、小林 幸治²⁾

¹⁾化学物質過敏症支援センター ²⁾化学物質過敏症支援センター伊豆検証PT

9-3. 化学物質過敏症・シックハウス症候群患者の化学物質暴露量と症状の調査

○藤間 義人¹⁾、中井 里史²⁾、松井 孝子³⁾、坂部 貢⁴⁾

¹⁾株式会社セラリカNODA、横浜国立大学大学院環境情報学府

²⁾横浜国立大学大学院環境情報研究院

³⁾北里研究所病院臨床環境医学センター

⁴⁾北里大学薬学部公衆衛生学講座

9-4. 当院におけるシックハウス症候群患者の長期経過(第2報)

○西中川 秀太¹⁾、横沢 册子¹⁾、石原 友香¹⁾、安藤 明利¹⁾、小川 真規²⁾、圓藤 陽子²⁾、
後藤 浩之³⁾

¹⁾東京労災病院環境医学研究センター

²⁾東京労災病院産業中毒センター

³⁾関西労災病院環境医学研究センター

9-5. シックハウス症候群及び多種化学物質過敏症患者における感情・気分状態についての検討

○横沢册子¹⁾、石原友香¹⁾、西中川秀太¹⁾、安藤明利¹⁾、小川真規²⁾、圓藤陽子²⁾、後藤浩之³⁾、
尾島 正幸⁴⁾、石川 哲⁴⁾

¹⁾東京労災病院環境医学研究センター

²⁾東京労災病院産業中毒センター

³⁾関西労災病院環境医学研究センター

⁴⁾北里研究所病院

9-6. 点滴療法・音楽療法の組み合わせ療法によるシックビル症候群・化学物質過敏症(MCS: Multiple Chemical Sensitivity)患者へのアプローチ(第二報)

○尾島 正幸¹⁾、西中川 秀太¹⁾、横沢 册子¹⁾、石原 友香¹⁾、河井 良智²⁾、富田 道夫²⁾、西田 明³⁾、
西田 和美³⁾

¹⁾東京労災病院環境医学研究センター(シックハウス科) ²⁾東京労災病院薬剤部

³⁾ジェーシーアイくらぶ有限公司

15:25 閉会の辞

15:40-16:00 休憩

16:00-18:00

市民公開シンポジウム

「シックハウス症候群についてどこまでわかったか？」

司会：石川 哲（北里研究所病院臨床環境医学センター）

1. 化学物質過敏症患者の脳画像の解析
相澤 好治(北里大学医学部衛生学公衆衛生学)
2. シックハウス症候群における NIRO(脳内血流量測定)検査
角田 和彦(かくたこども&アレルギークリニック)
3. 化学物質過敏症患者における心拍変動・体動の解析
熊野 宏昭(東京大学大学院医学系研究科ストレス防御・心身医学)
4. シックハウス症候群患者の治療法
坂部 貢（北里大学薬学部公衆衛生学教室）
5. MCS・シックハウス症候群患者のための問診票としての QEESI の有効性の検討
北條 祥子(尚絅学院大学生生活創造学科)
6. シックハウスの室内空気汚染と健康被害の実態
吉野 博（東北大学大学院工学研究科）